



守ろう！残そう！金津の自然（3,4年生）

金津小学校

STEP1：浸る ～ 朝日の森を存分に味わおう ～

朝日の森

金津小学校から、徒歩5分。秋葉区朝日地域に広がる新津丘陵の里山の一角。朝日の森の会の皆さんにより、間伐等の整備が進められている。

金津小学校の3,4年生は、総合的な学習の時間で、昔から地域のシンボルであった朝日の森に出かけました。何度も繰り返し足を運び、そのよさを十分に味わい尽くす時間を過ごしました。



いろいろな種類の木が生えている。でも、名前が分からない木が多いなあ。



ただの森ではなく、道が整備されていて、小屋や遊具があるよ。



足元に気を付けて進もう。ちょっと怖いけど面白いね！



展望台に上ったら何が見えるかな。



きれいな花を見つけたよ。虫や動物もいるのか、探してみたいなあ。



大きな池や小さな池があるぞ！魚はいるのかな。

森の奥まで進んでいったら竹林があったよ。



STEP 1-2：比べる ～ 学校と朝日の森の木、町と里山 ～



金津小学校には前庭と校舎周りだけでおよそ250本の木があります。朝日の森にある樹木と同じ木はあるか、調べてみました。校舎周りに多いのは、ハナミズキなど観賞用の木です。学校にある木は、大きな行事や節目ごとに、地域の人が植えてきたことがわかりました。

朝日の森では、学校では見られなかった木が多く見られました。クヌギなど実のなる木や、亀の甲羅に似た葉をもつオオカメノキが生えていました。

また、校外学習で見た市の中心地や住宅街と比べると、金津は緑が多く、景観もずいぶん違うことに気がきました。

STEP 2：働き掛ける ～ 朝日の森に、木を植えよう ～

何度も通ううちに、朝日の森は、昔から地域の人たちが大切に手入れをし、その姿を守り続けてきたことが分かってきました。今も、朝日の森の会を中心に、昔の里山の姿に近付けるため、元々生えていた木を大切に育てつつ、ブナやモミジなどの落葉樹を植樹しているのだそうです。

こんな素敵な地域の宝を守るために、私たちにできることはないだろうかと相談したところ、「朝日の森に植樹をするので、そのお手伝いをしてほしい」とお声掛けをいただきました。なんと私たちの先輩も、苗木を植え続けてきたというお話もうかがいました。



ブナの苗木を1本ずつ受け取り、日当たりのいい斜面に植樹しました。

秋の朝日の森でも宝物をたくさん見付けました！

朝日の森の方から植え方を教わりました。葉の表裏を確認し、少し寝かせて植えます。

今はこれくらいの高さ。大きく育ててほしいな。

STEP 3：続ける・つなげる ～ 里山の環境保全について考えよう ～

朝日の森に学んだ私たちは、身近な自然を守るためにできることはないか考えてみたくなりました。そこで、朝日の森の会の方にご来校いただき、朝日の森や自然を守ることについて、お話をいただきました。

さらに、学区にある県立植物園や弥生の丘資料館の専門家から伺ったことも参考に、自分たちがやるべきことを話し合い、遊具や生き物を紹介する看板や案内マップ、鳥の巣箱の作成などに取り組みました。



植物園の方から、身近な植物や、絶滅しそうな植物についてのお話を伺いました。

遊具に親しみを持ち、楽しんでもらえるように看板を付けよう！

弥生の丘資料館の方から、大昔の人々の暮らしと植物とのかわりについて教わりました。

里山の先生から

朝日の森の会では、里山の自然を守るための活動を続けています。子どもたちや地域の人々に知ってもらい、里山に足を運んでもらうために、手入れをし、遊具を作ったり植樹のイベントを行ったりしていました。子どもたちが里山で遊んだり、楽しんで過ごすアイデアを出し合ったりする姿を見て、今後も里山に関心を持ち、積極的にかかわってほしいと感じました。

子どもの声

自分で植えた木を時々見に行きたいと思いました。10年、20年経って大きな木になるのかなと想像すると楽しみです。朝日の森にはムクドリやシジュウカラなどの鳥がいます。朝日の森に鳥が増えるように、巣箱を作りました。木が育ち生き物が増えて、豊かな森になってほしいです。